

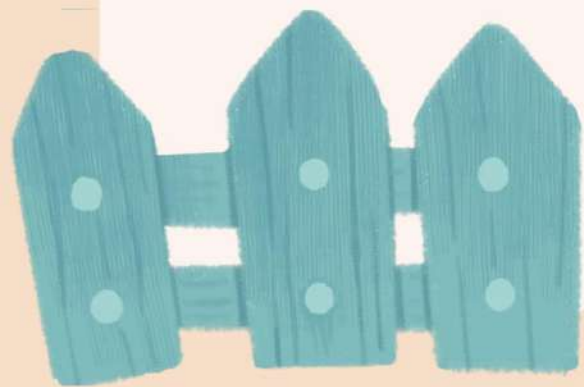


A S K サポート株式会社

放課後等デイサービスにおける 支援プログラム 公表



放課後等デイサービス ムーミンハウス





法人理念

自己成長力を引き出せる環境設定
適切な挑戦と成功体験の提供。

支援方法

「自立・生活・集団活動」を基盤として、一人ひとりの発達を支援し子どもたちの自己形成をサポートしています。子ども自身が「もっと成長したい」「より良くなりたい」と願う気持ちを育むことで、その願いをきっかけに、真の力を身に付けていくことを目標としています。

また、仲間との集団生活を大事にし、自分と他者を理解する力を養います。ありのままの自分を受け入れられる経験を育て、子どもたち本来の自己肯定感を育んでいきます。そして、自ら考え、判断し、行動できる社会性を身につけること。このプロセスを通じて、子どもたちは自分自身の成長を実感しながら、自信を持って未来へと進んでいけるようになります。

子どもたちの個性を尊重し、自然と「できる力」を育てています。
これからも、子どもたちが安心して自己表現を、社会性や自己肯定感を高める場を提供し続けます。





営業日

休業日

営業時間

送迎の有無

月～土曜日

日曜日・祝日

年末年始

夏季休暇

月～金曜日

長期休暇、代休、土曜日

あり

12月31日～1月4日

8月13日～8月15日

12 : 00～19 : 15

11 : 30～18 : 45





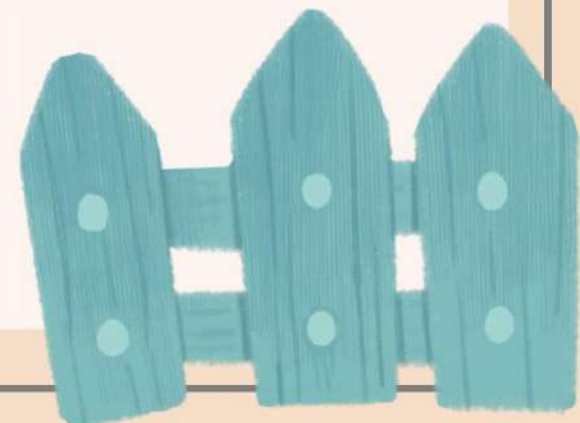
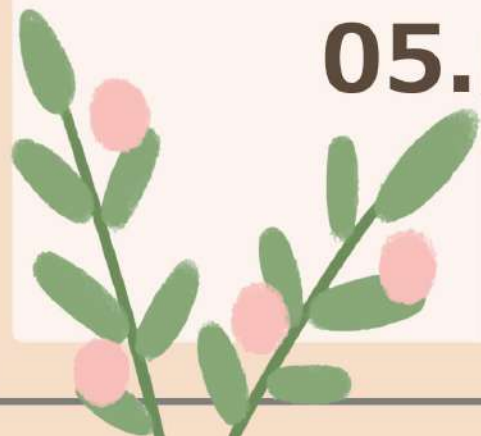
01.支援のプロセス

02.本人支援(5 領域)

03.地域支援連携・移行支援・家族支援

04.職員の質の向上

05.主な行事・イベント





支援のプロセス

1. アセスメント

保護者・子どもから情報を収集し、子どもの課題を領域ごとに分析、現状の把握の把握をします。

2. 個別支援計画の作成

子どもと環境を考慮し、サービス提供の目標と計画を立てます。

3. 支援の提供

個別支援計画に基づき支援を実施。
子どもたちが楽しみながら課題に取り組める環境を作ります。

4. モニタリング

行動を基準に達成、継続、終了を判断します。スタッフ間で進捗を確認し子どもの発達を把握します。

5. 個別支援計画の見直し

モニタリングをもとにサービス提供の目標と計画を見直します。





言語 コミュニケーション

・家庭や学校と意思疎通を図り、個々の児童への理解を深めるために、言葉だけでなく、絵カードや身振り手振り、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションを用いて相互理解を促進します。

（ア）言語的コミュニケーションが図れるお子さまに対して正しい言葉の理解と活用方法を繰り返しその場面に応じて伝え支援致します。

（イ）非言語的コミュニケーションが図れるお子さまに対して、場面に応じたジェスチャーや仕草、表情や態度を繰り返し伝え、支援致します。

健康・生活

・児童の健康状態を確認する際に体調不良などを表現しにくい場合は、普段と異なる様子や表情、体温をチェックしながら、健康管理を行います。

・基本的生活スキルの獲得（おやつづくり等を通した家事体験、買い物学習、トイレトレーニングや食事に関する支援等）

運動・感覚

・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動、動作の改善および習得、筋力の維持・強化を図ります。

（ア）体操・ヨガ・軽い運動（体操やサーキット遊びを通した体幹トレーニング等）

（イ）姿勢の保持（挨拶時・着席時の姿勢指導や補助手段を活用した支援等）

（ウ）感覚に特性がある児への配慮（イヤーマフの使用、個室利用などの環境設定等）

人間関係・社会性

・個々の遊びから集団遊びへ。意思を尊重しながら、集団や個の活動を促していきます。

・「できる」「できない」等の自身の行動特性を理解し、気持ちや感情の調整ができるように配慮して支援致します。

認知・行動

・イラストや写真、ホワイトボードでのタイムテーブルやタイマーの活用にて時間に関する認知の支援致します。

・ブロック遊びなどを通して、色や形、大きさ、重さなどを無理なく感じ取れるよう促していきます。

・支援プログラムにPC・タブレット等、知育アプリを取り入れ視覚、聴覚、触覚の感覚を活用して必要な情報を収集し認知機能の発達を促し支援致します。



移行支援

- ・ライフステージの切り替えを見据えた、地域の生活の場や育ちの場との交流と情報交換。
- ・通学する学校や利用している他事業所等の関係機関と情報連携。



地域支援・連携

- ・図書館や地域イベントなどを利用、活用します。
- ・地域のNPOや学校、福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整えます。
- ・施設利用やSNSの積極的な活用により、地域に活動内容についての理解を広めます。



家族支援



- ・研修会等を通じて、最新の情報や支援方法を共有し、家族の知識を深めます。
- ・家庭学習プランや行動管理の方法を提案し、家庭でも継続的に子どもを支援できるようサポートします。
- ・SNSを積極的に活用し、成功体験・成功事例を共有し、いつでも相談できる環境を提供します。





職員の質の向上

01

児童発達支援管理責任者 管理者向け研修

①リーダーとしての役割を確認『チームを介して成果につなげる』⇒（人を早く育て、動かす・適切に判断し、成果を生む・効果的にコミュニケーションする）

②モチベーションに応じて、コミュニケーションのアプローチを変える
【コーチング】【カウンセリング】の理解

③ディスカッション

02

全社員・従業員向け研修

- ①虐待防止（身体拘束）に関する研修
- ②事故防止に関する研修
- ③感染症に関する研修
- ④防犯に関する研修
- ⑤災害に関する研修

03

全社員・従業員向け

①資格取得のための費用補助や学習支援、資格講座を提供し、職員の専門性を高めます。

②新任の支援員へのメンタープログラムを導入しています。

③定期的な評価とフィードバックを通じて、多角的な視点から職員の成長を支援しています。

④チームワーク研修やレクリエーション活動を通じて、職員間の協力体制と絆を深めています。

⑤働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め、職員のストレス軽減を図っています。



主な行事・イベント

- ・ SSTに関するイベント（オリエンテーリング、街探検など）
- ・ 季節に関するイベント（クリスマス会、ハロウィンパーティーなど）
- ・ 工作に関するイベント（壁面飾り、季節の制作など）
- ・ 運動に関するイベント（リズム体操、サーキット運動、ボーリングなど）
- ・ その他：おやつ作り、遠足、外食など

